



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「On the Move!!」「さあ 動こう!!」
- アジア会長主題 「With Pride and Pleasure」「誇りと喜びを持って」
- 東日本区理事主題 「みんなで力を合わせて、1・2・3」
- あずさ部部長主題 「入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！」
- 東京西クラブ会長主題 「いつも自然体で！ 楽しい例会参加を」

2020年1月号
NO 520

まっすぐな人には闇の中にも光が昇る 隣みに富み、情け深く、正しい光が。

詩編 112編：4節

明けましておめでとうございます 会長 篠原文恵

昨年の年明けには、新元号に代わる期待、近づくオリ・パラへの期待、実感できない景気回復への期待、様々な希望を抱いて1年が始まりましたが、予想を超える数々の自然災害に慌てふためき、お隣の国との軋轢、事件、新天皇御代代わりの行事が過ぎてみると、いつの間にか年齢が繰り上がってしまいました。

クラブにおいては、チャーターメンバーの庄野久男さんが100歳を迎えられる直前に天に召されました。1 昨年夏の竹内隆さんに続き、クラブライフのお手本でいらしたお2人を失ったことはとても残念なことでした。

長い間、長老と呼ばれるベテランの皆様に教えを頂きながら、無我夢中で活動を続けているうちにメンバーはいつしか女性の数が男性を抜き、相変わらずどこへ

行くにも連れ立って移動する癖が抜けません。

頼りない会長ですが、皆様のお陰で魅力的な卓話者が次々と例会で卓話をして下さることは、有難いことです。

1月には航空機業界に30年在職したエンジニア・井上光夫さんによる「米国のプライベートジェット機最近事情」、2月には、ご存じ利根川恵子さんによる「同時通訳泣き笑い」、3月にはホットな話題のフードバンク主催者のお話しと続き、ワイズに所属していなければ聴くことができない貴重なお話が伺えます。

思うに任せぬメンバー増員には引き続き努力が要りますが、老年になっても社会と繋がっていただけるワイズの魅力を外へ発信できるよう、あと半年の任期を務めたいと思います。

根岸の里の侘び歩き

WHOウォーキングのご案内



子規が使っていた座机

期 日：1月25日（第4土曜）
 コース：JR 鶯谷駅—元三島神社—笹乃雪—八二神社—御陰殿跡(薬師堂)—書道博物館—子規庵—国際子ども図書館—千手院—御行の松—小野照崎神社—入谷鬼子母神—メトロ日比谷線入谷駅
 集 合：JR 鶯谷駅北口改札 9：45
 解 散：日比谷線入谷駅 4：30 頃
 携行品：雨具、昼食、飲料持参
 会 費：300円。初回の方は名札代 200円、入館 300円

クラブ役員

- 会 長 篠原 文恵
- 副 会 長 大野 貞次
- 書 記 神谷 幸男
- 会 計 高嶋美知子
- 担当主事 木川 拓

12月の記録		ニコニコ	0円
在籍者数	14人	メネット	1人
(内功労会員)	1人	クラブファンド(当月)	0円
出席者数	12人	コメント	0人
出席者数	12人	クラブファンド(残高)	161,780円
ミーキャップ	2人	ビジター	3人
出席率	92%	ホテ校ファンド(当月)	0円
前月修正	—	ホテ校ファンド(残高)	39,170円
		出席者合計	16人
		WHO参加者	41人

1 月例会案内

今月の強調テーマ：IBC / DBC

新年を迎え、気持ち新たにクラブ活動を進めたいと思います。

1 月例会には井上光夫さんをお迎えして「米国のプライベートジェット機の最近事情」と題し卓話をしていただきます。非常に楽しいお話が伺えると思います。

ぜひ友達を誘ってご出席ください。

日時：1月16日（木）18：45～21：00

会場：ウェルファーム杉並（4階集会室）

（杉並区天沼 3-19-16 TEL03-5335-7330）

会費：1,500 円（ゲスト、ビジター、メネット）

担当：A 班（大野、村野、本川、神崎）

HAPPY BIRTHDAY

7 日 石井 信雄 15 日 小山多喜子

19 日 石井 元子

受付 本川 悦子
司会 大野 貞次

開会点鐘 篠原 会長
ワイズソング（いざ立て） 一 同
聖書朗読・感謝 村野 絢子
開会あいさつとゲスト紹介 篠原 会長
会食

卓話 「米国のプライベートジェット機の最近事情」 井上光夫さん

ハッピーバースデー
諸報告 会 長 他
YMCA 報告 担当主事・木川 拓
ニコニコ 一 同
閉会点鐘 篠原 会長

— 12月第2例会(事務会) —

日時：12月26日（木）

19：10～21：00

会場：ウェルファーム杉並

出席者：大野、神谷、篠原、高嶋、
鳥越、本川、村野、吉田

<確認事項>

12月の記録・記載を確認した。

<会計報告>

会計報告書がなく来月に審議。

<メンバー近況>

山田利三郎さん：足の疾患で歩行困難だが元気にされているとのこと。

<協議事項 = 例会関係 =>

▼1月例会

卓話者：井上光夫さん。

卓話題『米国のプライベートジェット機の最近事情』

▼2月例会

卓話者：利根川恵子さん。

卓話題『同時通訳泣き笑い』

▼3月合同例会（恒例東京世田谷クラブとの合同例会）

卓話者：黒田知代さん。

<協議事項 = 例会関係以外 =>

①次期国際会長、国際会計、アジア太平洋地域会長選挙に関し

て：審議の結果、篠原会長に一任する。

②1月号ブリテン編集会議：レイアウトに関して意見交換がなされた。

③小山多喜子さんの去就：ご本人の意思（生涯ワイズメンでありたいとのこと）、夜の集会（例会がこれに該当）には健康上出席できないを尊重し、功労会員に推薦することで本人の了解を得ることとした。

④あずさ部部費等の納付：部費、CS/ASF、YVLF は12月14日付納付、その他は金額未定につき1月事務会にて審議後に納付することになっている。「用途が明確でない項目については、他の有効目的のために使うために送付を控えるべきである」「納付を前提で予算を承認したのであるから、予算通り納付すべきである」等議論された。

⑤ブリテン発送先（9月事務会決定分以外）の検討：提出された資料に基づき各自の意見を1月事務会に提案、その結果で決定する。（書記 神谷幸男）

卓話者紹介

井上 光夫(いのうえ・みつお)さん

1951年 東京・保谷市（現在西東京市）生まれ。早稲田大学理工学部で学ぶ。

1976年 三菱重工業に入社。

1988年 ヘリコプターを製造する SIKORSKY 社のある Connecticut 州 Stratford に駐在。

2006年より米国三菱に出向。

Okulahoma 州 talsa INTERCONTINENTAL jet Service corp. を立上げ VP として勤務。

2010年 三菱重工株式会社に復職。2016年退職。

2016年 柏菱エンジニアリングに入社、2017年退職、現在に至る。

会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先 みずほ銀行方南町支店
普通口座 8027928
東京西ワイズメンズクラブ



クリスマス例会：宴もたけなわ

－12月例会報告－

12月例会は恒例の年2回の特別例会として、定例の会場から離れて「かごの屋」という日本料理店で開催した。

店の提供する料理を食べること、食事をしながらの歓談が主な内容の楽しい交歓の一時を過ごした。普段の例会でのニコニコスピーチでは時間の関係で各メンバーの近況、所信などを聞くことが出来ないが、この日はたつぷりと話すことが出来た。

その人についての新発見もあり、少しはお互いの交流を深めることが出来たと思う。前月には「コミュニケーションの心得・極意」について学んだが、少しはその効果が表れたでしょうか？

ビジターのお二人からお土産をいただいた。この分配をじゃんけんで決めることに全会一致。「はじめはゲー」と元気な大声で始まり、今宵の会最大の盛り上がりのおうちに開きとなった。

(神谷幸男)

出席者(敬称略)：<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、神崎、木川、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、<メネット>神谷、<ビジター>太田勝人(東京町田スマイリング)、田上正(熊本むさし)、藤井寛敏(東京江東)

樋口一葉の世界、本郷、下谷

WHO 12月例会報告

12月21日は冷え込みました。転居の多かった樋口一葉の24歳の生涯のうち、本郷3か所、下谷竜泉寺の旧居跡と、記念館、作品に登場した社寺などを訪ねました。

参加者は、41人。一葉は女性に人気があるのですが、今回は藤井寛敏さん(東京江東)が友人と参加し、男性が目立ちました。

東大赤門から出発。まずは、一葉が幼少時代を役人だった父のもとで育った法真寺そばの桜木の舎跡へ。ここから菊坂に出て、下ります。途中裏菊坂に入り、更に細い路地を入ると、一葉が父の死後、母と妹を養うため苦しいやりくりをした旧居跡。近所と共同で使ったといわれる井戸を見て折り返しました。付近は、家が立て込んだ住宅地。小グループに分かれて静かに歩きます。

菊坂に戻り、一葉が通った伊勢屋質店へ。店舗も土蔵も健在で、今は跡見学園が所有し管理、公開されています。白山通りを北上すると「一葉終焉の地」の石碑が道路脇にあります。ここは、次々に代表作を発表し、「奇跡の15か月」と言われる福山丸山町時代の旧居跡です。相変わらず質屋通いをしたようですが、訪ねてきた島崎藤村らには鰻をとって振舞っ



礪川公園で北斎の浮世絵の解説

たそうで、なにかホッとした気になります。

礪川公園で昼食休憩後、樋口順英さん(東京グリーン)の北斎の浮世絵『礪川雪ノ旦』の解説に納得してから、大江戸線と日比谷線を乗り継いで三ノ輪駅へ移動。浄閑寺、目黄不動、千束稲荷神社を経て、台東区立一葉記念館へ。

ここは、菊坂と福山丸山町時代の間、一葉が生活を立て直すために転居した下谷竜泉寺の一角です。学芸員の20分の解説を聞き、各自展示を見ました。資料が充実し、展示も理解しやすい記念館でした。

一葉が駄菓子と雑貨品を扱った旧居跡は、両側に50店もが連なる商店街だったようです。吉原遊郭への一本道でした。彼女は、再び文筆で生計を立てる決心をして、本郷に戻りましたが、ここでの僅か9か月の人々との会話や観察が、その後の一葉文学に大きな影響を与えたといわれます。この後、下谷飛不動、鷲神社を訪ねました。

ワイズの参加は、石井・鳥越・吉田(東京西)、中澤(東京たんぼぼ)、藤井(東京江東)、樋口(東京グリーン)、関(石巻広域OB)。

東京YMCAのHPで、WHOの毎月の予告と報告を写真入りで見ることが出来ます。



http://tokyo.ymca.or.jp/community/suginami_news/



アジア賞授賞式に出席して

あずさ部部大会と松本クラブの事業である「アジア賞」授賞式が、12月14日(土)松本深志社「梅風閣」で開催されました。

会場には各クラブの皆さんが集まり部会が開催されました。出席者は20クラブ、79人。当クラブからは神谷、高嶋、本川、吉田、大野の5人が出席しました。

第1部の部会は12時半からあずさ部・金井宏素書記の司会で始まり、開会挨拶、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、祈祷と行われ、来賓・区役員の紹介の後、松本クラブの中本品子会長の歓迎挨拶がありました。来賓挨拶は田中博之アジア太平洋地域会長と、山田敏明東日本区理事でした。

赤羽美栄子あずさ部長の挨拶は年度前半を振り返り、後期への期待でした。ここで、台風のため記念例会を中止した東京八王子クラブ創立25周年の報告が並木信一会長からありました。その後東日本区の各事業主任の挨拶と報告がなされ、最後に皆で「あずさの道」を歌い、閉会点鐘し、第2部の記念講演に移りました。

講演は、松本クラブの会員で医師の北村豊さんが、「自然界より受け止めるアンチエイジングー家畜化した日本人への提言」と題し話されました。アンチエイジングについては違う角度で話された故竹内隆さんを思い出しながら講演を聞きました。

第3部は、留学生論文コンクー

ル「アジア賞」の授賞式。松本クラブが主催で今回21回を迎え、今年もアジア各国・地域から私費外国人留学生・信州大学・松本大学・丸の内ビジネス専門学校の留学生が参加。

作文テーマは

- ①留学によって切り開く私の人生
- ②祖国と違う日本の風習、文化、なぜだろう
- ③私の祖国、住んでいる町、出会った人
- ④人生の豊かさとは？自分はこう考える

日本語で3,000字以内という条件で募集され、応募者は26人、内19人が女性、男性は7人でした。その中から、最優秀賞1人、優秀賞2人、佳作5人、審査委員特別賞1人、伊藤賞1人、山梨YMCA特別賞1人が選ばれました。

最優秀賞を勝ち取られたのは信州大学・韓国留学生キム・ビヨンガンさん「留学によって切り開く私の人生」が選ばれ表彰された。

他の表彰者等は冊子がありますので回覧させていただきます。

表彰の後受賞者3人のスピーチ・祝辞に続き丸の内ビジネス専門学校留学生によるパフォーマンス等があり第3部が終了。

記念撮影し、第4部懇親交流会が行われ、おいしい料理をいただきながら留学生と交流、楽しい時間を共にすごし、午後6時30分に帰路につきました。(大野貞次)

■新年明けましておめでとうございます。ホテル学校2年生は学校生活残り3カ月となりました。現在110人が内定し、就職率は96.5%。

いよいよオリンピックイヤーを迎える2020年。激増の訪日外国人旅行者にとっては、ホテルマンのおもてなしが日本の印象につながります。新入社員も日本代表になる年！ポジティブに前向きに頑張りたいと思います。

■12月10日、「3法人合同クリスマス礼拝・祝会」がキリスト教視聴覚センター(AVACO)にて開催され、3法人(公益財団法人、学校法人、YMサービス株式会社)の役員、委員、職員、合わせて32人が出席しました。

礼拝では三谷高康牧師(桜美林学園学事顧問・公益財団法人東京YMCA理事)から「飼い葉桶と十字架と」と題して説教をいただき、続く祝会では懇親の時を持ちました。席上献金31,810円は台風19号・15号被災地支援のために捧げられました。

■12月12日、台風19号で甚大な被害を受けた長野市豊野地区に、中期的な支援拠点となるスペース「まちの縁側ぬくぬく亭」が開設され、菅谷淳総主事と中里敦氏(会員・コミュニティー事業部統括)が出席しました。

同スペースは広く地域住民に開放され、社会福祉法人賛育会ほか豊野地区で支援活動を行ってきた自治会やNPOなど12団体が協働して運営を担いますが、東京YMCAもその一員として今後、各種の交流プログラムの提供を行っていく予定。

(担当主事 木川 拓)

意見交換

毎月15日に発信

Change! 2022

EMCニュース

ワイズドットコムで配信されます

☆☆☆ インタビュー ☆76☆ 板村 哲也さんに聴く

板村哲也さん(東京武蔵野多摩クラブ)は、東日本区次期区理事です。



一板村さんは、関西人のようでもあり、そうでないような。

「私のこれまでの居住文化圏を要約しますと、関西が 26 年間、中南米(ブラジル、キューバ、ニカラグア、グアテマラ)が、計約 17 年間、東京が 30 年間です。私の中ではこれら 3 つの文化圏のメンタリティーが共存していますが、一番根強いのはやはり関西のものですよ」

一子どもの時はどんな子でした。

「幼児時代は、とにかくじっとしてなくて、目が離せない子だったそうです。小学校時代はいたずらで、権太。中学になってから少し落ち着いたようです」

一勉強の方は。

「中学時代に英語に、高校時代は数学、物理に興味がありました。文系に進学しましたが、今も理系の話題に興味があります」

一大学での専攻は。

「外国語大学でスペイン語を専攻しました。外国語なら英語以外と、深く考えず、スペイン語を選びました」

一大手総合商社に就職されて。

「主な仕事は鉄鋼原料(特に鉄鉱石)で、鉄鉱石の輸入、鉄鉱山の開発事業、鉄鉱石専用船の備船・運航を中心に、鉄鉱石以外の鉄鋼原料、非鉄原料関係も担当しました。また、海外小規模事務所ですべての管理運営を行いました。入社以来 35 年間営業一筋で、最後の 7 年間は子会社 3 社の監査業

務をしました」

一4 か国で駐在をされましたね。

「すぐ環境に慣れ、どの土地でも文化の違いや、新しいことを楽しむことができました」

一ある時期、商社不要論、問屋不要論がありましたね。

「人間に経済活動がある以上、しなければならない機能・業務(仕事)は必ずあり、それを誰が行うかの問題です。機能・業務そのものがなくなるわけではありません。総合商社の機能・業務は極めて広範囲・複雑多岐で活路は縦横にあります」

一商社の情報力は凄いですね。

「情報は知っているだけでは意味がありません。1人1人のマインドの問題です。実体験として身につく自然に行動できるようになるのは、日ごろの業務の中での経験、コミュニケーション、上司の指導、各自の感覚の向上といったことが重要だと思います」

一ご自身のワイズとの接点は。

「通っているスポーツジムのボイストレーニングのインストラクターが 2015 年に東京 YMCA 西東京コミュニティーセンターで新しく講座を開講するとのことで、追っかけの女性ジム仲間数人と応援に行き、宮内友弥さん(東京武蔵野多摩)と 32 年ぶりに偶然再会しました。クラブの例会で卓話を頼まれ、忘年会に招かれ、酒の勢いで入会となりました。それまでワイズのことは全く知りませんでした。YMCA は昔から知っていましたが、会員になったのは 2018 年です」

一入会を決めたのは。

「①退職後、自由時間ができ、経済的に困窮している訳ではなかったのに、社会に役立ちたいこと、②YMCA のリーダー達を見て素晴らしいと思ったこと、③クラブの飲み会が楽しかったこと、が理由で気軽に入会しました」

一入会して期待どおりでしたか。

「正直なところ、特別大きな期

待、高邁な思想を持って入会したわけではありません。入会して、半年位でワイズについて多くの疑問、問題を感じました。それは今も続いています。良い団体ですが、もっと良くなれるのではと感じています」

一どのあたりで、自分の居場所を見つけましたか。

「入会 1 年半後に会長と東日本区の文献・組織検討委員になった頃からでしょうか。居場所を見つけたというより、居場所になってしまったと言った方が適切です。退職以前から、またワイズに入る以前から、あちこちに居場所がありましたので」

一入会して、時を経ないで東日本区理事を引き受けられましたね。

「私のような者が必要とされるのも『めぐり合わせ』あるいは『何かのご縁』、『自分に与えられた使命』と覚悟しました。」

一11 月に、ワイズの発祥の地、米国トレドで行われた国際の次期理事研修会に参加されました。

「国際の役員の方、世界中の次期理事とお会いでき、またレガシーツアーという稀有な機会に恵まれ幸運でした。RDE サミットの中では、東日本区で論じられているような危機感を感じられず、それが気になりました。環境は常に変化しています。会員数の減少(事象)に潜む問題の本質を捉え、まず自分(Y's)が変わり、次に周りを変えましょう。楽しみながら。ワイズの存続、発展のために」

一学生時代にコーラスを。
「男声合唱を中学から大学まで続けました。2014 年から大学のクラブ OB 合唱団(東京)に参加しています」

一板村さんは、立ち居振る舞いが、軽快にみえますが。

「ジムのスタジオで行う各種プログラムを続けています」
一有難うございます。理事としてのご活躍を期待しています。

(吉田明弘)

私の大切な物② 村野絢子

ワイルドライス

ワイルドライスを初めて知ったのは、1991年、「和泉教会ミネソタの旅」（ジュティン宣教師の母教会を訪問）のお土産だった。繁は、他の参加者が要らないと言われた数人分のパッケージを持ち帰った。

見た目はひじきをカットし、乾燥させたように見える。説明書を読むと湖のほとりの湿地帯に育つお米の一種でネイティブアメリカン（インディアンの現在の呼び方）が昔から食しているという。今も彼らが優先的に刈り取り、粃を焼いて保存していると聞く。

白米にこれを混ぜて炊飯器で普通に炊き、熱いうちにバターと刻んだ胡桃と塩少々を混ぜれば出来上がり。粘りと香ばしさがあってとても美味しい。

年に数回、体が求めるのでワイルドライスの登場となる。めったに売っていないが、輸入元の

鈴商からカナダ産の 2.5kg 入りを取り寄せている。カナダで多く消費されるようで、数十年アメリカに住む友人も北部で 1 度食べたことがあると驚いていた。ワイルドライスにシーフード・ビーフ・チキン等のシチューを添えれば、素敵なメニューとなる。

BF でカナダを旅した時には、歴史博物館は何処も開拓者が入ってから歴史でなく、ネイティブアメリカンの住み始めた時からの歴史に中身が一新されていた。ただ 1 度もワイルドライスのメニューに出会わなかったのは残念だった。



アフガニスタンで倒れた医師・中村哲さん

日本YMCA同盟総主事・神崎清一

アフガニスタンの農業・灌漑支援に尽力した医師の中村哲さんが銃撃によって死亡した事件を受け、公益法人日本 YMCA 同盟（神崎清一総主事）は昨年 12 月 5 日、フェイスブックの公式ページにコメントを公表しました。

「バトンを受け継いだ『私達のこの時』を多くの方と共有し、平和と何か、地球市民としての私達の役割は何か、あらためて考えることが出来ればと思います」と表明している。

* * *

12 月 4 日、アフガニスタンで人道支援につくされていた中村哲医師が、銃撃によって亡くなりました。中村哲さんは、九州大学 YMCA のメンバーで、仲間と哲学や聖書に触れることを通して、人間のこころの問題、精神に興味を持つようになり、医学部卒業後は、国立備前療養所の精神神経科の勤務を選ばれました。

その療養所で患者の話を聞き、

相手の世界をそのまま受け入れ、その人の傍らに寄り添うようにして気持ちを理解しようとつとめられたこと、後にアフガニスタンという異国の地で、自らの価値観による正義感の押し付けをせずに、彼らの世界を受入れ大切に、ひたむきに共に生活し、自分ができることをする、若い時代の感受性を学び、経験が中村哲さんの生き方を定めました。学生 YMCA から誕生した、日本キリスト教海外医療協力会（JOCA）からのペシャワール赴任の打診を、二つ返事で引き受けられ、同時に、YMCA の仲間、志を同じくする人達によって彼の活動を支援するために設立されたのがペシャワール会であり、事務局は福岡 YMCA でした。中村さんが 37 歳のときでした。

* * *

キリスト新聞（2019 年 12 月 5 日付）の記事から。

編集後記

新しい年を迎えましたが皆様は良い年を迎えられたか、今年は暖冬の影響か寒暖の差が激しく体調を崩していませんか？

それとは別に機械にも影響が出たのか PC が不調で作業がおくられてしまい 1 月のブリテンの発行が遅れてしまいました。

ところで中村医師のアフガンでの悲しい事故の報道を受け何故と思いました。献身的にその国のために尽くしている方をあのような野蛮な行為で人を殺めてしまうのか？ 人間の欲望がなせる業なの？ 悲しい事件がアフガンにとどまらず世界のあらゆるところで起きている昨今です。少しでも平和な世界が実現するように祈るばかりです。

いろいろの記事を寄せていただき感謝です、皆様の努力を無にしないように努めたいと思っています。(TO)